

シンジャク城（鳥取市鹿野町矢原）

河内谷上流部、鷲峰山から南西に伸びる枝尾根の先端に築かれた山城です。主郭と主郭から北側に伸びる尾根上に設けられた3段の郭は、主郭背後に自然地形を利用した大きな堀切によって区画されています。堀切に接する主郭は南北に長く、長さ14m、幅8mで東西の長辺に沿って幅1.5～2m、高さ0.3mの土塁が巡っています。

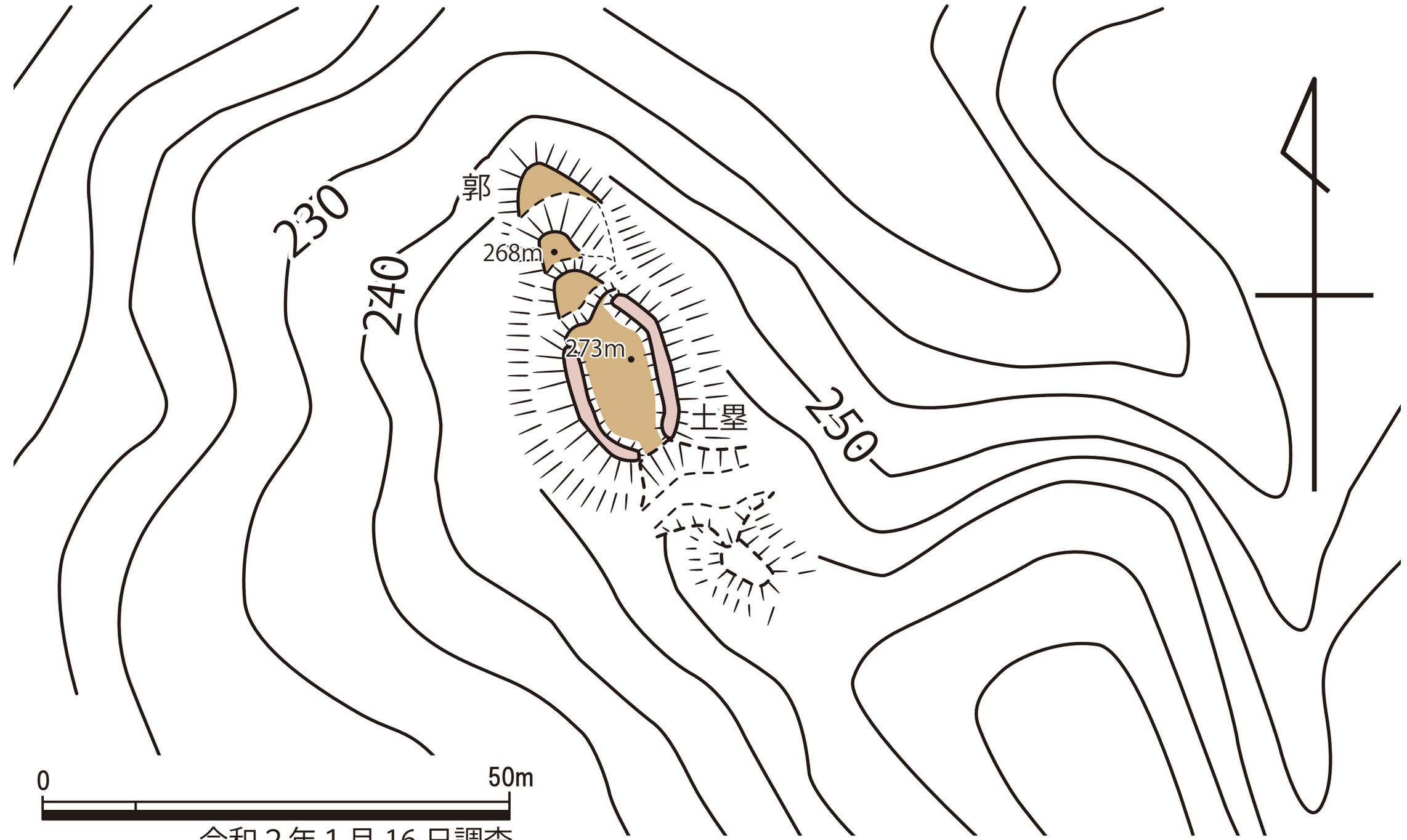
短辺では土塁が途切れ、それぞれ虎口状の構造となっています。郭から西側に小畑高尾城、南西側に荒神山城を望め、眺望を意識していたことがうかがえます。立地および縄張りの特徴から小畑高尾城や飛田砦のように、織田方によって築かれたものと考えられます。



主郭をめぐる土塁



シンジャク城遠景



令和2年1月16日調査